

令和5年度 皆野町一般会計

予算と施策



令和5年度一般会計予算

44億 6,300万円



皆野町長

柴崎 勉

新型コロナウイルス感染症の流行から3年が経過し、社会経済活動は正常化に向け進みつつあります。

その一方で、エネルギー・食料品価格などの高騰による影響は大きく、依然として厳しい状況が続いています。

当町は、少子高齢化に伴う人口減少により、昨年4月に過疎地域として指定されました。また、最近の出生数は過去最低の水準にあるため、子育て支援の強化と持続可能なまちづくりの推進が求められています。

こうした状況の中、令和5年度では「学校給食費の無償化」、「新学校給食センターの建設推進」、「地域公共交通の見直し」を重点事業に掲げ、5つの柱を重点施策として予算を編成しました。

既存事業を見直し、制度の拡充を図るとともに、コロナ禍を契機として進んだデジタル化など、変化する社会環境にも対応し『笑顔あふれる町 誇りを持てる町 若者が戻ってくる活力と魅力あふれる町』の実現に向けて取り組んでまいります。